

大学名	大阪大学
-----	------

第66号 特集テーマ「女性研究者の育成・活躍」

表題	ライフイベント時にもキャリアを中断させない研究支援体制
----	-----------------------------

大阪大学は、令和3年に『大阪大学ダイバーシティ&インクルージョン(D&I)推進宣言』を公表し、多様性が真に受容され、尊重される環境整備を促進・徹底することを宣言し、取組みを進めています。令和4年5月には、女性研究者在職比率21%となり、取組の成果が着実に表れています。

研究支援員制度

性別や研究分野等を問わず、出産や育児をはじめとした様々なライフイベントに直面し、研究時間を十分に確保できない研究者のために、学生等を「研究支援員」として雇用し、配置できる支援制度。

出産予定女性教員の代替教員充当の弾力的運用制度

女性教員が妊娠期間中も教育と研究を継続するため、産前休暇の取得前から代替要員を利用できる制度。
※人事制度による代替教員は、産前休暇取得以降措置が可能。本制度は、妊娠判明時から支援するもの。

多様な保育環境の整備

学内に3つの保育園、一時預かり保育室、病児・病後児保育と教職員の様々なニーズに応える保育環境を用意し、研究の継続を支援。

【研究支援員制度を利用した教員の声】

研究者としてキャリアを積む中で3人の子を出産し、研究支援員制度を利用しました。支援員はみな優秀で、私は彼らを教育しつつ、研究をお手伝いしてもらい、良いスパイラルを構築することができました。



丸山 美帆子
大学院工学研究科教授



参考URL

ダイバーシティ&インクルージョンセンターHP
<https://www.di.osaka-u.ac.jp/>